



学校だより
ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyamami/>

平成29年11月30日

12月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

世界に一つ ニレちゃんの投的板

《1回目の作業》



《進行中》



《完成》



30周年に向けた事業の一つに投的板の補修がありました。昨年度の学校運営協議会の中で、マスコットキャラクターの描かれた投的板にしたいと夢を語りました。それを聞いた地域コーディネーターや学校運営協議会の委員さんがボランティアを募って総勢9人の方々が私の夢を実現してくださいました。感無量です。釜南子も大喜びです。素晴らしい作品が完成しました。投的板なのにボールを当ててほしくないと思ったほどです。地域の方、保護者の方の協力・協働でできあがった作品です。このあとも釜南小のシンボルとして釜南子を見守ってくれることでしょうか。学校にお立ち寄りの際は是非ご覧ください。制作にかかわってくださった皆様、本当にありがとうございました。

11月25日(土)にニレの木スタディフェスタがありました。多くの保護者・祖父母・地域の皆様、卒業生など多くの方々にご参観いただきありがとうございました。どの学年の児童も事前の準備から友達と力を合わせて取り組みました。当日も一人一人の児童が輝いていました。友達と協力して合奏や合唱を発表し、秋のお店では立派に店員さんをした1年生。難しいクイズを考えた野菜研究所や楽しいお店を出した2年生。町の素敵なところをたくさん見付けて上手に発表した3年生。安全や節水、リサイクルなどを劇で工夫して発表した4年生。自分たちが育てた米のことを劇で思いを伝えた5年生。歴史劇や琴など日本の歴史や文化を調べ練習し発表した6年生。学習の足跡を作品等で展示した3・4組。開・閉会式をしっかり運営した実行委員。朝練に励み、上達した演奏を発表した特別音楽クラブ。「スローガン；全員が主役になってみんなが学習を生かせるスタディフェスタにしよう」が達成できたのではないのでしょうか。充実感溢れた表情が印象的でした。受付等のボランティアをしてくださった保護者の皆様、ご参会の皆様、ありがとうございました。

今後とも釜南子・釜南小への温かい応援や支援をよろしくお願いいたします。